

上手に使おう 横浜の水  
～健康と豊かな暮らしは蛇口から～

ラオス国の水道事業改善に向け、JICA、埼玉県、さいたま市、川崎市と協定締結  
～日本の水道事業体等の知見・経験をラオスへ～



ラオス国では、2030年までに都市人口の9割に対して、24時間安全な水を供給することを国家目標として掲げています。横浜市水道局は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施した「水道公社運営管理能力向上プロジェクト（通称：MaWaSU）（平成24年～平成29年）」及び「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（通称：MaWaSU2）（平成30年～令和5年）」において、ラオス国の水道公社の事業計画策定能力の強化を支援してきました。

この度JICAは、第3フェーズとして、ラオスの水道セクターの更なる強化を目指し、「水道事業運営管理能力向上プロジェクト（通称：MaWaSU3）」を実施します。

そこで、MaWaSU2に引き続き、埼玉県企業局、さいたま市水道局、川崎市上下水道局、横浜市水道局とJICAが、日本の水道事業体等の知見・経験を生かし、連携してラオス国の課題を解決することを目的とし、1月23日（火）付で協定を締結しました。

横浜市水道局は、MaWaSU3においても職員の派遣や研修員の受入を通じて、経営・財務に関する分野でラオス国の水道事業を支援していきます。



…ラオス国  
(外務省ホームページから引用)

■技術協力プロジェクト概要

プロジェクト名：水道事業運営管理能力向上プロジェクト（通称：MaWaSU3）

期 間：令和6年2月から令和10年2月まで（4年間）

ラオス側実施機関：公共事業運輸省水道局、各都県公共事業運輸局、各都県水道公社、ラオス水道協会

目 的：国家目標の達成に向けて、国及び各都県における水道セクターの管理・計画・運営能力向上のための持続可能な体制強化を図る。

- 主 な 活 動：
- ・水道行政能力（主に法令執行・モニタリング・管理能力）の強化。
  - ・水道施設整備の実現可能性に係る各都県公共事業運輸局と水道公社間の連携体制の構築。
  - ・水道公社に対する能力強化プログラム（研修）の体系化。

※JICA 同時発表

お問合せ先		
水道局事業推進部国際事業課長	卯都木 優子	Tel 045-671-3077